

これまでのとりくみ(P・D)



全国学力・学習状況調査の結果より(C)



これからとりくみ(A)

【教育目標】：「認め、気づき、変わる。」

【めざす子どもの学ぶ姿】：自らの課題解決に向けて、仲間と協働し、粘り強くとりくむ子ども

【学力向上重点目標】：子どもと粘り強くとりくむ授業づくり～生徒同士の深い学び～

・基礎学力の定着

・深い学びのための対話活動の充実

・一人一台端末の有効的活用

教科の結果より (表中の△:その年度の全国差の数値がプラス ▼:その年度の 全国差の数値がマイナス ※昨年度の問題は類題)

①【正答率】 についての分析...文章を読み、理解し、説明する問題に課題がある。

| 概要 | 佐野中 (昨年度) | 佐野中 (今年度) | 全国 (今年度) |
|---|--------------|---------------|-------------|
| 1一変換した漢字として適切なものを選択する問題(国語) ワーク等を活用した漢字練習で、基礎的な知識の習得が進んでいると考えられる。 | — | 35.2 | 35.2 |
| 3二「文学的文章を読み、登場人物を捉える」問題(国語) 文章を読み、登場人物の設定を捉え、説明することが課題であると考えられる。 | — | 77.6 ▼12.3 | 89.9 |
| 問1 素数を選ぶ問題(数学) 正答率が高いことから、数学の基礎的な知識は習得しつつあると考えられる。 | — | 37.2 △5.4 | 31.8 |
| 問7(2) 確率について正しい記述を選択し、その理由を説明する問題(数学) 正しい記述について、そう判断した理由を数学的な表現を用いて説明することに課題があると考えられる。 | — | 42.9 ▼13.0 | 55.9 |

②【無解答率】 についての分析...文章を読み、それを文章で表現し、説明する問題に課題がある。

| 概要 | 佐野中 (昨年度) | 佐野中 (今年度) | 全国 (今年度) |
|---|---------------|----------------|-------------|
| 1四考えが伝わる文章になるよう根拠を明確にして書く問題(国語) 文章を読み、情報を整理し、根拠を示す問題である。読みとって書こうとする意欲が高まっていると考えられる。 | 1.0 ▼0.5 | 0.5 | 0.5 |
| 3四「文学的文章を読み、文章の構成や展開など」を読み取る問題(国語) 文章を読み、整理し、書くことが課題である。また、長文を書くことを求められると、どのようにして書けばよいかわからない状態であると考えられる。 | 26.0 ▼11.0 | 43.4 ▼15.3 | 28.1 |
| 4二職場体験活動のお礼状を書く問題(国語) 正しく書き直すことなど、書くことが多い問題への取組みが課題であると考えられる。 | 26.0 ▼11.0 | 31.6 ▼12.5 | 19.1 |
| 問6(2)・(3)数と式について説明をする問題(数学) 式の意味を読み取ったり、目的に応じて式を変形したりすることに対して課題があり、問題に取り組めない生徒が多いと考えられる。 | 39.2 ▼15.7 | ①39.3 ▼14.4 | ①24.9 |
| | 48.5 ▼18.9 | ②34.7 ▼14.5 | ②20.2 |
| 問9(3)平行四辺形の証明(数学) 問9(1)、(2)よりも、全国との差が大きいことから、証明の選択問題や穴埋め問題については取り組める傾向にあるが、1から証明を組み立てる問題に対して、どう書いたらいいのかわからない状態であると考えられる。 | 44.6 ▼11.0 | 44.4 ▼12.9 | 31.5 |

生徒質問より...全国に比べてもICT機器の活用頻度は高い。今後は活用方法の充実に努めたい。
自分の考えを深めたり、発表したりする活動に課題がある。機会やとりくみの充実が必要である。
(表中の△:その年度の全国差の数値がプラス ▼:その年度の 全国差の数値がマイナス ※数値は肯定的回答率)

| 概要 | 佐野中 (昨年度) | 佐野中 (今年度) | 全国 (今年度) |
|--|---------------|---------------|-------------|
| 1、2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えが上手く伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。 | 58.7 ▼6.1 | 55.2 ▼7.8 | 63.0 |
| 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか。 | 81.1 ▼5.0 | 78.7 ▼6.0 | 84.7 |
| 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。 | 74.7 ▼7.5 | 73.5 ▼6.0 | 79.5 |
| 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。 | 18.9 ▼45.5 | 85.4 △32.2 | 53.2 |

- ・ I C T 機器の使用の頻度は上がった。効果的に活用（個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をはかる）をするために、積極的な活用の実施を継続しながらも、教職員の授業力向上を図っていく。（校内研修や相互授業参観、情報提供）。
- ・ 自分の考えを持ち、それを表現する力を身につけるため、生徒同士の学び合いの場を積極的に設ける。
- ・ 基礎学力の定着のために、計算の反復練習や、文章の趣旨（特に、重要である部分）を掴む読み取り練習などを取り入れる（朝学・授業中の演習・自分の言葉で説明する発表やそのための練習）。